

1982 (毎月1回) 発行

12月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報

いずみ

(昭和57年11月1日現在)

村の人口

総人口	1,400人
男	708人
女	692人
出生	2人
死亡	1人
転入	7人
転出	12人
世帯数	445世帯

スキーシーズンを迎え総点検

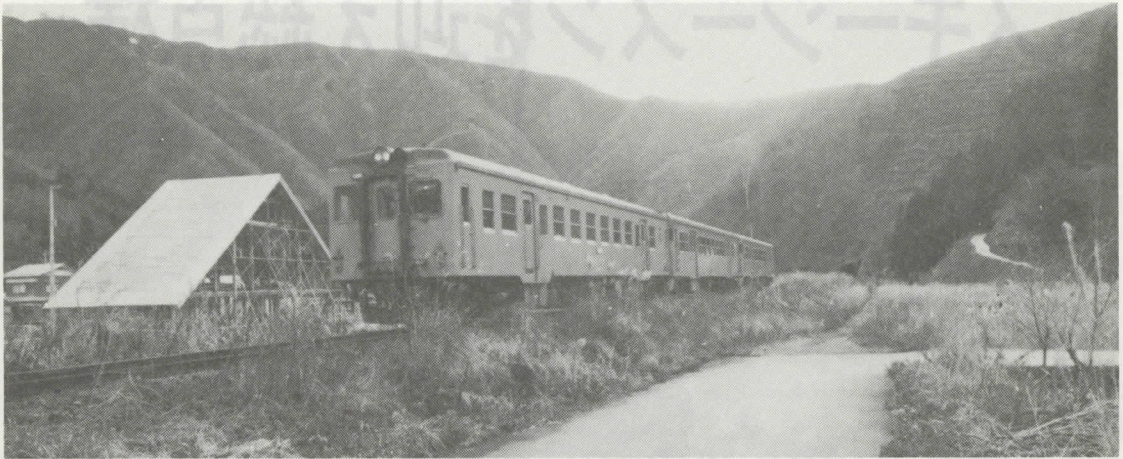


九頭竜スキー場

みんなで越美北線を利用しよう。

存続決定 越美北線

～永久存続をめざし、さらに乗る運動推進～



国鉄財政の再建策の一環として、乗車密度二千人以下の赤字ローカル線の廃止作業が進められていますが、国鉄は昨年六月十日の第一次選定四十線に次いで、十一月二十二日第二次廃止対象路線三十三線を選定して運輸大臣に承認申請しました。

越美北線は昭和五十二年度から昭和五十四年度の三年間で通行困難な日が三十三日あることが認められ、「積雪などのため、並行道路が年十日以上通行困難である場合」という除外規定に該当して申請から除外され、廃止をまぬがれることとなりました。

豪雪山村という厳しい条件の本村にとって、越美北線の存廃は村の興亡にかかると大きな問題であり、存続確定は村にとって明るい兆しであります。

しかし、越美北線の輸送密度は基準年度平均千三百三十九人であり、収支係数も四百四十七(百円もつけるのに四百四十七円かかる)と赤字であることには変わりはなく、将来にわたり存続を図るためには、いっそうの利用が必要で

あります。村では昨年八月から越美北線乗車利用助成金制度を創設して、乗る運動を進めておりますが、今後も継続いたしますので、さらに利用して、乗車密度を高めるようご協力ください。

頭文字でつづる 越美北線の 存続決定を

福井市の竹内豊治さんから次のような手紙が届いたので紹介します。

えん線の民心配は
つもった雪のことばかり
みんなの願い実を結ぶ
ほっとしました助かった
くらしの中に溶け込んだ
せい活のため欠かせない
ん(人)を守ろうみんなして
のって残そう実績を
それなり計らい答うべく
ん(人)民あげて結束し
ぞくぞく乗れ乗れ運動し
く夫をこらすようにせよ
けん民これを要望し
つづけて運転出来るよう
てを取り合って協力
い持して行こうこの鉄路

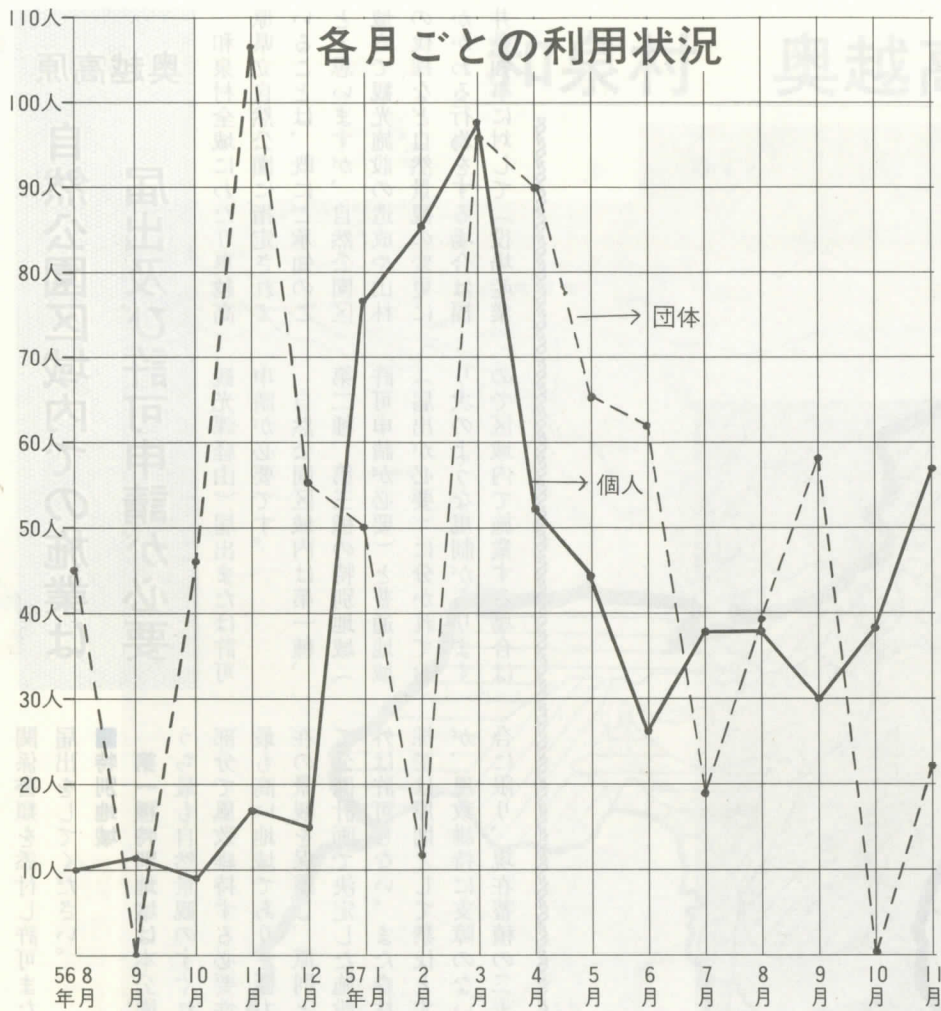
千四百五人が利用

越美北線助成金の申請状況

昨年八月に越美北線乗車利用助成金制度が発足してから今年十一月末日までの請求件数は七百十五件（うち個人は九人、団体は七百六十六人）

昨年八月に越美北線乗車利用助成金制度が発足してから今年十一月末日までの請求件数は七百十五件（うち個人は九人、団体は七百六十六人）

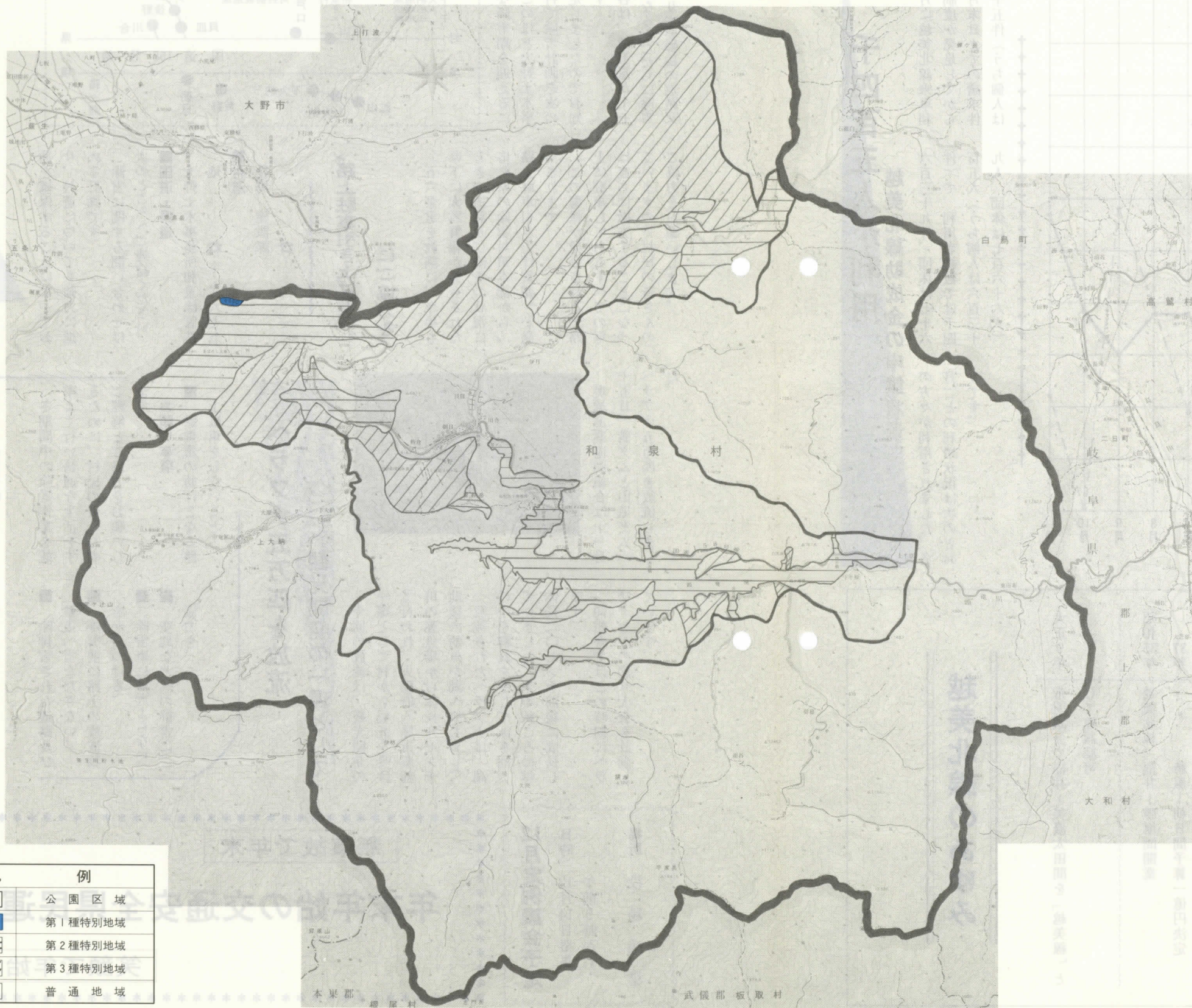
六百三十九件、団体は七十六件）で、利用者総数では千四百五人（うち個人は六百三十九人、団体は七百六十六人）の方々が利用されました。各月ごとの利用状況は次のとおりです。



越美北線のあゆみ

大正9年	帝国議会で福井〜美濃太田間を「越美線」として建設認可
昭和35年	越美北線 福井〜勝原間開業
37年	勝原〜朝日間予算一億円決定
39年	勝原〜朝日間延長工事くい打ち式
47年	勝原〜九頭竜湖間開業 (越美北線全通)
48年	九頭竜湖〜北濃間「調査線」に昇格建議
53年	「工事線」昇格について運輸大臣から鉄道建設審議会に諮問され、同日付けで答申された。
53年	南北線を結ぶ九頭竜湖〜北濃間が「予定線」から「調査線」をとびこえ「工事線」となる。
54年	九頭竜湖〜北濃間 公共測量実施
55年	

和泉村 奥越高原県立自然公園区域図



凡	例
	公園区域
	第1種特別地域
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	普通地域

奥越高原 自然公園区域内での施業は届出及び許可申請が必要

和泉村全域にわたり奥越高原県立自然公園に指定されていることは、既にご承知のことと思いますが、自然公園区域内で観光施設の造成や山林の伐採など自然景観の変更にかけられる行為をする場合は福井県知事に対して(役場産業

関係書類を添付し許可または届出をしてください。

■特別地域
 第一種特別地域は本公園のうち最も自然景観のすぐれた部分で風致維持する必要性が最も高い地域であり、極力現在の景観を保護し、原則として公園計画で決定した施設以外は許可しない。また森林伐採では原則として禁伐とするが、風致維持に支障のない場合に限り、現在蓄積の二十パー

セント以内で単木択伐をすることができ。

■第二種特別地域は風致維持の必要性が中位のところで産業的利用との調整がある程度はかれる地域とする。森林伐採では適正伐期齢に見合う年齢以上で、現在蓄積の五十パーセント以内の択伐または一伐区五ヘクタール以内の皆伐とする。

■第三種特別地域は風致維持の比較的少ない地域で通常の

産業行為は原則として許可する。

■普通地域
 普通地域は集落地、農耕地及び主要利用ルートから望見されない地域で、景観維持の必要性が少ないためすべての行為は届出が必要である。なお村内の自然公園区域は次のとおりです。詳しくは、産業観光課へお問い合わせください。

斜雪情報あまる

斜雪の心配なく

「村民指標」募集 ふるってご応募を

村民の皆さんの暮らしに潤いと活気を、そして豊かな人づくりをめざす目的として村社会教育委員の会では「村民指標」を募集しています。

方法 様式は自由で作品に住所、氏名、年齢を記入し次へ持参または郵送

応募の方法は次のとおりです。
（村教育委員会事務局）

締切り 五十八年一月十四日

テーマ 村民の皆さんの目標となり合言葉となるようなもの、毎日の生活にいつも生かされるような内容のもの

詳しくは、村教育委員会事務局へお問い合わせください。
☎……二一〇・二一七九

紅葉まつり

写真コンテスト 入選者決まる

先に募集していた紅葉まつり写真コンテストには二十点の応募があり、次のとおり入選が決まりました。

（敬称略）

□優秀作

岡田市太郎（今庄町）

□入選作

南川 伝憲（勝山市）

斉藤 隆博（大野市）

□佳作

佐沢 芳郎（大野市）

田中 道夫（鯖江市）

防火ポスター入選者決まる

村内六人入選

先に募集していた大野地区消防本部防火ポスターには大納小学校から四十五点の応募があり、次のとおり入選が決まりました。総応募数は七百十六点。

（敬称略）

□優秀賞

京谷久美子（一年）

□秀作

田村あつし（二年）

本田 晴美（三年）

寒田 洋光（四年）

吉本 正和（五年）

斉藤 恵（六年）

いずみ むかしばなし その④



腰折れ雀って、腰を痛めた雀がまどの所へきてさえずっておるんじやって。それを

雀を見て、おじいさんはその雀がかわいそうで、どうかして治してやらんなんと

薬ぬったりなんかして、とうとう治してやったんや

って。そしたら、その雀、もううれしそうにして飛んで

いったんやと。

あくる日、おじいさんがおきたら、まどの所へきて

やっぱりその雀がさえずるんじやって。それで、「おう。

来たか来たか。」っての、まどの戸を開けてみたら、ひ

よしたんの種を雀がくわえ

て、持ってきてあったんじや

て。それで、その種を「それはまあ、めずらしいものを持

ってきてくれたなあ。」ちやておじいさんは、まいたんや

って。そしたら、その種がうまいこと生えて、実がな

てきた。もう口をつけにやならんと思つてへたのとこ

腰折れ雀

ろを切つて穴あけて、そん

中をふつてみたんやって。そしたら、ぞくぞくと、小

判が出てきたんやって。そしたらこんど、となり

ね、やっぱりおじいさんがお

つて、うらやんだんやの、（となりのおじいさんうまいこ

とやった。そりや、うらもひとつ、せにやならん。）と思

つて。そして、雀、つかまえてきて、腰をいためさせて、

薬ぬったりなんかして、同じことして放してやったんや

って。そしたら雀は悲しい声を出し

て逃げて行ったちゆんやの。

そしたら、しばらくたつたら、やっぱまどの所へ

きて、チュツチュツと鳴くもんで、となりのおじいさん

（ああうれしや。うらのとこへもよい物、持つて来た

んや。）と思つて開けてみたら、やっぱ、ひよわたんの

種があつたんじやて、となりのおじいさん喜んで、

「ああ、見ろ、うらもうまいことした。」つてそのひよ

わたんの種をやっぱりまいてそしたら、同じように実が

なつた。そいでこうひよわたんが大きくなつたもんで

喜んで、口開けたらんなんと思つて、へたのところを

切つて穴あけた。そんで、こんだふつてみたんや

って。いやあそしたら、へびやはちやらその中から出て

きたんや。それで、そのとなりのおじいさんは死ん

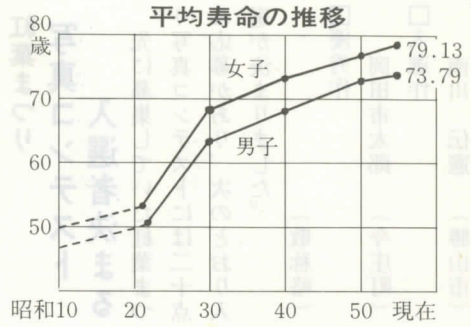
でもうたつてね。

欲の深いものは、あかんちゆう意味やわの。

（村教委発行の「ふるさ」と和泉」による。）

老後の生活設計に年金は

欠かせない時代になってきた



高齢化社会を迎えた日本

現在(昭和五十六年)の日本人の平均寿命は、男子七十

ります。ところで年金制度は、長い将来にわたって給付が保障されなければなりません。

俳句・短歌コーナー

〈俳句〉
 廃屋に 風鈴なれる 秋の暮
 草

〈短歌〉
 いただきし 丹精こもる 菊の花
 供華かおるなり 朝のおつとめ 水 蓮
 我が庭の どうだんつつじ 火と燃えて
 残り少なき 秋をいろどる とみ子
 病むほどに 心の痛み 堪えながら
 身代わりもかなわぬ 病む娘見守る 千代子

石油ストーブによる火災をなくそう!

- これから長い冬を迎え、各家庭でも暖房用として石油ストーブを使用しますが年々石油ストーブによる火災が増えていきます。
- これらの火災事故はちょっとした心がけにより防ぐことができます。
- 村民の皆さまも次のこと
- それには、高齢化社会を目前にして増え続ける給付費をまかなう財政基盤の確立がどうしても必要になってきます。
- そこで加入者が適正な負担(給付に見合う保険料負担)についての理解と協力を示されるとともに、若い世代が自
- 年寄りをいたわり、やがて自分たちも次の世代に期待するといったこの連帯感が必要不可欠です。

- をもう一度よく確かめ火災予防にご協力ください。
- 石油ストーブの近くには可燃物を置かない。(とくに石油ストーブの上にはせんとく物を干さない。)
- 石油ストーブの使用中は燃料を注入しない。(燃料注入のときは、石油ストーブの火を消してから行う。)
- 注入する燃料をよく確認する。(灯油とガソリンとを間違っていないかなど。)
- 対震装置付き石油ストーブを使用する。
- 燃料(灯油)の違法(一〇〇ℓ以上)貯蔵をしない。

11人のうごき

10月届出分

▼赤ちゃん誕生

名前 保護者名 続柄 住所
 谷 英俊 秀明 長男 下山
 島田雄一 博 長男 貝皿

▼死

名前 年 歳 住所
 古川とえ 九十五歳 後野



雄一くん



英俊くん

